

兵庫県立播磨南高等学校長 吉田尚美

今日で1学期が終わり、夏休みが始まります。夏休みにはぜひボランティアに参加してほしいと思います。

ボランティアといえば、無償で世のため人のために働くヒーローです。そこで、今日のテーマは「ヒーローとは何か」です。みなさんにとってヒーローとは誰ですか。スーパーマンだったり、大谷翔平選手だったりするかもしれません。人にはそれぞれ違ったヒーローがいます。では、ヒーローに共通するものは何でしょう。

1つ目は「危機に臨んで、平気な顔ができる」こと。ルパン3世は銃を突きつけられても両手をポケットに入れたまま「へへっ」と笑います。ヒーローである野球部のピッチャーは大事な試合、仲間のエラーで満塁の危機を迎えてしまっても、平気な顔をしてみんなにドンマイと声をかけます。

危機的な状況で、パニックになったり、感情が高ぶって視野が狭くなったりすると、よけいに状況は悪くなります。危機が迫ったとき、心を平静に保ち、広い視野を持ち続けられることがヒーローというものです。

2つ目は「見返りを求めない」です。スパイダーマンはビルから落ちる人を助けたとき、10万円いただきますとは言わない。ヒーローであるサッカー部員は、3年間補欠で試合に出られなかったけれど、毎日練習に参加して、ボールを磨いて、グラウンドを整備してチームのために尽くしました。

どこからともなく現れて、「名乗るほどの者じゃありません」と、どこへともなく去って行く。それがヒーローです。

3つ目は「どうにもならないと思われる悪い状況を好転させる。」です。町に怪獣が現れて破壊の限りを尽くし、人々が諦めかけたとき、ウルトラマンが現れて怪獣をやっつけます。ヒーローであるバスケットボール部員は相手チームの身長が高く、ゾーンディフェンスが堅く、入り込めない状況でみんなが諦めかけていたとき、外からの3ポイントシュートを連続で決めてチームを生き返らせました。

4つめ目は「敗れてもまた立ち上がる」です。ワンピースのルフィはやられてもやられても立ち上がります。ヒーローである吹奏楽部員は、チームで何度も意見が対立したり、音が合わなかったりメンバーがやめたりしましたが、諦めずにチームをまとめて練習し、演奏会を成功させました。

部活動の例を挙げましたが、みなさんも時々ヒーローになっています。水害の起こった町に後片付けのボランティアに行った人、道に迷っている人に道を教えてあげた人、電車やバスで席を譲った人もいると思います。

そんな人たちを、英語でアンサングヒーロー (unsung hero) と言います。ほめたたえられない英雄詩歌に歌われてない英雄という意味です。ホメロスの「イリアス」「オデッセイア」は、アキレウス、オデッセウスなどの英雄の活躍を歌った叙事詩で、「ニーベルンゲンの指輪」はジークフリートなど英雄を歌った楽劇です。英雄達の活躍は、歌にして褒め称えられます。日本でも「桃太郎」「金太郎」などの歌があります。しかし、そんな風に詩歌に歌われない、名もない縁の下の力持ちのことをアンサングヒーローと言うのです。

実は、この褒め称えられない英雄達が世の中を支え、よくしています。

ヒーローは得をするより損をする方が多いでしょう。賞賛や感謝すら得られないときもあるでしょう。でも、カッコいい。

カッコいいとは、他人のためにするやせがまんのことだと思います。

みなさんはカッコいいヒーローになって、よりよい世界をつくってほしいと思います。そして、播磨南高校を地域や、小中学生にとって、憧れの高校にしてほしいと思います。